

応募者	流通株式会社
1. 活動名	「TEAM 流通の SDGs～各部署で毎月一歩ずつ～」
5. 表彰の対象となる活動の目的	<p>ランドセル回収・寄付活動「ランドセル FOR ALL」をきっかけとして、全社で取り組む SDGs プロジェクト「TEAM 流通の SDGs～各部署で毎月一歩ずつ～」の活動している。</p> <p>会社全体が無理なく SDGs 活動に取り組める体制をつくり、企業の経済活動として自然なかたちで事業全体が SDGs 的になるようにしていく。</p>
6. 表彰の対象となる活動内容	<p>(① 施期間、②対象者・参加人数、③実施場所、④活動概要などを記載してください。)</p> <p><b>【TEAM 流通の SDGs～各部署で毎月一歩ずつ～】</b></p> <p>① 2022 年 1 月より毎月実施／②対象:全社員・ミーティングは 20 名参加／③流通欄／</p> <p>④ どんないいことでもいいので、各部署で毎月 SDGs の 17 項目のどれかに当てはまる新しいルールや改善点を自主的に決定。毎月 17 日を原則に行う社内プレゼンでその取り組みを発表。その活動を社内報の SDGs 専用ページにまとめ、同じ内容をホームページでも公開し、社内外に取組を効率よく PR する。さらに社内 SDGs アワードを新設し、最も優れた改善に対して、毎年 1 月と 6 月に行う全社行事においてアワードを贈る。</p> <p><b>【ランドセルプロジェクト】</b></p> <p>① 実施期間:2020 年 9 月から現在に至るまで、通年で開催。</p> <p>② 対象:社内ランドセルプロジェクト実施メンバー:4 名/地元協力企業・団体</p> <p>③ 流通の 4 拠点と地元企業に協力してもらい、ランドセル回収 BOX を構え回収・保管。</p> <p>④ 使わなくなったランドセルをみなさんに寄付していただき、メンテナンスしたのちに、次の世代にバトンを繋ぐもの。12 月に山陰在住の外国籍の方を中心に譲渡。加えて、協力団体から寄付先を募り、寄付。初年度 200 個、2 年目 130 個、3 年目現在 100 個累計で 230 個の寄付を受付</p>

**表彰の対象となる活動の自己評価**

①モデル性	<p>自社内や地域への波及効果も 3 年前に発足したランドセルプロジェクトを当社が SDGs に取り組むきっかけとした。初年度は社内でも一部のメンバーが関わるものだったが、次年度には全部署が関わる取り組みとして展開。3 年目には、ランドセルプロジェクトにだけでなく、全部署が自発的に SDGs に取り組む仕組みとして「TEAM 流通の SDGs～各部署で毎月一歩ずつ～」を展開し、日進月歩でとりくんでいる。</p>
② ネットワーク	<p><b>【TEAM 流通の SDGs～各部署で毎月一歩ずつ～】</b>月一の取り組みの一巻で、「エコキャップや古着の回収でワクチン」に取り組んでいる。その際、山陰合同銀行様に寄付をさせていただいている。</p> <p><b>【ランドセルプロジェクト】:</b>鳥取県内の 4 つ教育委員会様よりご後援をいただいた。回収 BOX の設置場所として、地元企業様 4 箇所に設置の協力いただいた。</p> <p>国際交流財団様や鳥取県交流推進課様・キッズア様などに譲渡先への橋渡しをしていただいた。さらに、熊本の災害団体ネットワークなどからも寄付をいただいた。</p>
③ 包摂性	<p><b>【TEAM 流通の SDGs～各部署で毎月一歩ずつ～】</b>全社員での取り組みであり、一部のスタッフだけでなく全体で行う活動とした。スタッフ自ら活動を選択し、実施。半年に 1 回、各部署の SDGs 活動を表彰し、より積極的に関わる土壌づくりのきっかけづくりとしている。</p> <p><b>【ランドセルプロジェクト】</b>山陰の地元の方から外国籍の方へ向けた活動だが、希望あれば全国の日本籍の方にも譲渡をさせていただいている。※生活困窮家庭への支援団体を通じ寄付を行う。</p>
⑤ 統合性	<p>地域社会における当社の持続可能性を高めるために行う活動の重要性を認識しており、全世界規模の取り組みである SDGs は、必然的に自社にとっても重要な活動であると位置づけている。2030 年に向けて、会社全体が経済活動を行う企業として自然に無理なく継続できる SDGs 活動にこだわり、最終的には当社の事業自体が SDGs 的と言われるような体制の構築を目指します。</p>
⑥ 継続性	<p><b>【TEAM 流通の SDGs～各部署で毎月一歩ずつ～】</b>プロジェクト開始時に経営者から、会社の活動としての重要性を全社員へ向けて教示。加えて、各部署に「SDGs 推進委員」をもうけ、月 1 の報告ミーティング時には所属長と推進委員の出席をマストとした。報告会のスケジュールを 1 年分会社スケジュールに落とし込み、必ず実施できるようにした。</p> <p><b>【ランドセルプロジェクト】</b>多方面へ協力を仰ぎ、活動を行い、今年で 3 年目。初年度・2 年目は期間限定で実施したが、今年から通年で実施している。また、SDGs 伝道師となり、SDGs 自体の周知活動も行う。</p>

その他、6に記載の活動又は運営主体の特徴、取組のPR等を記載してください。

当社では事業ドメインを「地域密着サービス業」とであると定義し、地域密着型のサービスであること、および、広義の人材サービスであること、を提供サービスの共通項として、地域社会に欠かせない存在となるほどの企業を目指しています。ゆえに、地域社会における当社の持続可能性を高めるために行う活動の重要性を認識しており、全世界規模の取り組みである SDGs は、必然的に自社にとっても重要な活動であると位置づけます。

2030 年に向けて、会社全体が自然に無理なく継続できる SDGs 活動にこだわり、最終的には当社の事業自体が SDGs 的と言われるような体制の構築を目指します。